

平成 26 年度 自己評価結果を踏まえた学校関係者評価報告書

柴田町立船岡小学校

1 評価期間 平成 26 年 12 月～平成 27 年 2 月

2 学校関係者評価委員

平間くみ (委員長), 阿部 光雄 (副委員長), 佐藤 力雄, 我妻 智晃, 八巻 祐子

3 評価規準

- 妥当である。 (適切な取組で, 次年度へ向けての取組も妥当である)
- 妥当でない。 (取組が不十分で, 次年度へ向けての改善策も妥当でない。)
- 判断することができない。

※自己評価の数値の算出方法

教職員の自己評価で, A: 大変良い・・10点, B: 良い・・5点, C: 課題がある・・-5点, D: かなり課題がある・・-10点とし, 各項目の合計点数を教職員数で割った値。

上段: 本年度自己評価の数値

下段: () 内数値は昨年度比

4 評価項目

1. 地域に支えられ「地域と創る学校」づくりの推進

| | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|---|-------|
| (1) 学校運営に対する地域住民・保護者等の参画と意見・要望の反映を図り, 信頼される学校づくりに努めている。 | 4.8 (↓0.8) | 妥当である |
| (2) 学校の教育内容や実践を, 保護者や地域に積極的に公開し, 開かれた学校づくりに努めている。 | 4.4 (↓1.7) | 妥当である |
| (3) 保護者の支援や地域の教育力を生かし, 学校の教育活動の一層の充実を図っている。 | 5.0 (↓0.4) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて 今年度も地域の方々は積極的に協力してくださっているし, 学校も例年通りの動きを行ってきている。意見, 要望の反映という点で, 船岡小学校らしい特色ある活動をクローズアップするとともに, 新しい支援の在り方や方法について地域の教育力を生かせる内容を整理し計画, 実施できるよう努めていきたい。 | 学校関係者による主な意見 ・学校は公開の場をそれなりに設けてはいると思いますが, 1月のフリー参観の際見たのですが, 書きぞめ展だけを見て, 授業を見ていかないという保護者も増えてきたように思います。 | |

2. 「学力向上」と新学習指導要領の趣旨の徹底

| | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|--|-------|
| (4) 「学力向上」を目指して, 指導方法の工夫・改善を図るとともに, 個性を生かした楽しく分かる授業の実践に努めている。 | 5.6 (↑1.3) | 妥当である |
| (5) 学習意欲の向上と生活習慣・学習習慣を改善し, 主体的な学習を促して基礎学力の向上に努めている。 | 3.7 (↑1.3) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて 児童の学力向上に向けて意識を高くし取り組んできている。学習は積み重ねが大切という基本的なことを念頭に置き, 学年に応じた学習会などを計画し, 今後も学力向上への方策を実施していきたいと考えている。また, 家庭学習の在り方についても, 家庭との連携の基, 学習の習慣づけを第一に考え, 適切な内容にしていくよう学年の発達段階に応じた計画を立て実施していく。 | 学校関係者による主な意見 ・(4)の評価が上がっており授業における指導の工夫がなされていると考えます。 | |

3. 豊かな人間性を育む道徳教育の充実

| | | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|---|---------------|-------|
| (6) | 「道徳の時間」の実施時数の確保と指導方法の工夫改善を行い、道徳的実践力を高めるとともに、教育活動全体を通じた道徳的実践意欲の向上に努めている。 | 4.6 (↑0.3) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 道徳の教科化の動向をふまえて、取組について教員間の共通理解を進めていく。また集団生活における決まりやルールの大切さを日常的に指導し、児童一人一人の規範意識を高められるよう努めていく。 | | ・特になし | |

4. 生命の尊重と社会性の育成を図る生徒指導の充実

| | | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|---|------------------------------------|-------|
| (7) | 「いのちと心を大切にすること」及び「良好な人間関係をつくること」が重要であるという共通認識のもと、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。 | 4.2 (↓1.4) | 妥当である |
| (8) | 児童生徒の発達段階にふさわしい生徒指導を推進し、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成に努めている。 | 4.6 (↓0.6) | 妥当である |
| (9) | 児童生徒に自己の特性を、理解させるとともに能力・適性や興味・関心等に基づいて将来の生き方を考えさせる志教育・キャリア教育の充実に努めている。 | 4.0 (↓0.8) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 携帯ゲームやスマートフォンの普及で生活習慣の乱れが心配される。学年懇談会や学年便り等で話題にし基本的な生活習慣の大切さを啓発していく。 今年度も、音楽系のアウトリーチや外部講師による夢授業などを積極的に行い志教育・キャリア教育の充実に努めてきた。来年度も機会を捉え積極的に取り入れていきたい。 | | ・(7)については、全体の様子を見ると努力しているように感じている。 | |

5. 安全・安心な教育環境の整備・促進

| | | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|---|--|-------|
| (10) | 児童生徒の安全に対する意識を高めるための指導や「防犯教室」を実施して児童生徒の安全確保に努めている。 | 6.2 (↑1.4) | 妥当である |
| (11) | 地震災害等を想定した「避難訓練」「引き渡し訓練」「防災教室」を実施している。 | 8.5 (↑2.2) | 妥当である |
| (12) | 「子ども見守隊」「安全パトロール隊」など地域の支援を受けて、通学路の安全確保や地域の巡回などを行い、事故や事件の被害を未然に防止している。 | 7.3 (↓0.1) | 妥当である |
| (13) | 生涯体育・スポーツの視点に立ち、健康でたくましい児童生徒の育成に努めている。 | 4.6 (↓0.2) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 今年度、災害時の初動訓練を定期的実施し、いざというときに身を守るための動きが身に付けられるよう工夫した。また、中学校区での引渡し訓練も実現できた。来年度も継続し、よりスムーズな動きができるようにしていきたい。 船岡見守り隊の皆様には今年度も児童の登下校時の安全確保に多大な協力をいただいている。学校側でも隊の皆様と連携を強め、児童の安全・安心を継続していけるよう努めたい。 | | ・見守り隊との連携について今年度は祖父母参観時の説明会の開催など、工夫が見られた。今後も自治体へのアピールや地域との協調を進めてほしい。 | |

| 6. 特別支援教育の充実 | | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|--|------------------------------|-------|
| (14) | 特別支援の指導体制が整っており、特別な支援を必要とする児童生徒のニーズに応じた指導を行っている。 | 2.1 (↓1.8) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 多様な児童への支援をコーディネーターと担任が連携しながら行っているが、学習面だけではなく集団生活面での支援も必要になってきている。児童一人一人についてしっかり把握し必要に応じて個別の支援体制も計画していく。 | | ・人数的に厳しい中でよく対応しているのではないかと思う。 | |

| 7. 国際理解教育の促進 | | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|---|---|-------|
| (15) | 自国文化に対する理解を深めるとともに、他国文化に学ぶ国際理解と国際化に対応した教育の推進に努めている。 | 5.2 (↑1.1) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 外国語活動についてはALTとの授業により外国語に親しむ素地ができてきている。また、外国からの体験入学児童との生活を通して国際理解を育む一助となっている。 来年度も継続して推進していきたいと考えている。 | | ・海外からの体験入学もあり、国際理解にかかわる活動を学校生活の中で実際に行っていると思う。 | |

| 8. 情報教育の推進及び学校図書館の充実 | | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|--|---------------|-------|
| (16) | 高度情報化社会に適切に対応していくことができるよう、各教科に応じた情報活用能力の育成を目指す情報教育の推進に努めている。 | 3.8 (↓0.6) | 妥当である |
| (17) | 学校図書館を整備し、児童生徒の読書活動の充実に努めている。 | 6.3 (↓0.9) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 情報教育については、コンピュータも更新され環境が整ってきた。今後それらを更に有効活用できるよう教員自身も研修を進め授業に生かしていく。 また、図書館教育は非常勤司書がいることで本に親しむ環境が整ってきている。読書貯金も児童の読書意欲の向上に良い効果を与えている。今後は児童の取組やがんばりを保護者へ積極的に知らせよう努めたい。 | | ・特になし。 | |

| 9. 学校校地の自然環境の整備と自然体験学習の推進向上 | | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|---|----------------------------------|-------|
| (18) | 校地内に花と緑の潤いのある教育環境をつくとともに、児童生徒の自然体験学習の充実に努め、自分たちの住んでいる地域の自然環境を守り大切にしようとする心の育成に努めている。 | 5.4 (↑1.5) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| みどりの日(除草活動の日)を設定し、花壇をきれいにする活動へ取り組む機会を増やした。今後は設定日以外にも自然な活動として環境美化や自然愛護に取り組めるよう支援していきたいと考える。 | | ・みどりの日の活動については、中学校でも参考にしたい活動である。 | |

10. 教職員の資質及び指導力の充実・向上

| | | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|--|---------------|-------|
| (19) | 教職員の自己研修を促し、指導力向上を図るとともに、学校課題の解決を図る校内研究・校内研修を積極的に推進している。 | 5.8 (↑0.1) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 校内研究として算数科の指導について、各学年の研究授業を見合いながらよりよい授業のため、検討を計画的に行った。3年間の研究の蓄積を来年度も生かしていく。 また、体育科（タグラグビー）や音楽科（合唱指導等）について講師として校内の人材を活用し研修を行い、それぞれの学年での授業に生かしている。来年度も継続したいと考える。 | | ・特になし | |

11. その他

| | | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|--|---------------|-------|
| (20) | 子供たちと一緒に話をしたり、教育相談をするなどのふれ合う機会を多くつくっている。 | 5.2 (0) | 妥当である |
| (21) | 子供たちは学校へ来るのを楽しみにしている。 | 5.6 (↑0.8) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 放課後など児童とふれ合う時間を大切に考えているが、時間的に厳しい日も少なくない。日々の生活の中で一人一人の様子をしっかりとらえ、全ての児童が学校生活を楽しめるよう支援していきたいと考える。 | | ・特になし | |

12. 教育目標について

| | | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|---|---|-------|
| (22) | 教育目標「豊かな心をもち自ら考えるたくましい児童」が、学校の教育活動において具現化されている。 | 5.2 (↑1.2) | 妥当である |
| 自己評価結果から次年度へ向けて | | 学校関係者による主な意見 | |
| 学校教育目標達成のため具体的な方針を立てて取り組んできた。特にあいさつ運動では、児童会が呼びかけ、学級ごとに計画やめあてを立て取り組むなど子どもたちが主体的に高めあえる工夫も行ってきた。 来年度も学習面、生活面ともに高められるよう、これまでの船岡小学校の良い伝統を保ちながら、新しい取組も積極的に取り入れていきたいと考えている。 | | ・児童からの自発的なあいさつが少ないように思う。日頃の生活の中で自然に元気なあいさつができるよう、工夫した取組を続けてほしい。 | |

◆その他:学校関係者による主な意見

- ・もくもくタイムなど、今年度から始まった取組などがあるのはとてもよい。来年度も様々な工夫をして、児童が生き生きと活動できるよう努めてほしい。